

+++++
◇公開シンポジウム「初等・中等教育課程における『ヒトの遺伝学』教育の課題
と推進方策」の開催について
◇日本学術会議政治学委員会シンポジウム・第25回中央大学学術シンポジウムの
ご案内
+++++

■-----
公開シンポジウム「初等・中等教育課程における『ヒトの遺伝学』教育の課題と
推進方策」の開催について
-----■

公開シンポジウム
『初等・中等教育課程における「ヒトの遺伝学」教育の課題と推進方策』

開催趣旨：
我が国では、初等・中等教育課程において、ヒトの遺伝についての教育がほとんど
行われていない。そのため、今日の遺伝学や遺伝医療における著しい進歩を正し
く理解し社会生活の中で活用していくためのリテラシーが、著しく不足している。
例えば、人々の遺伝や遺伝性疾患などに関する理解不足から、遺伝性疾患やその患
者に対する誤解や偏見が生まれ、また、新型出生前診断の開発やその適用の広がり
による生命の選別や、中絶の増加などの可能性が懸念されている。また遺伝リテラ
シーの不足は、理由のない人種差別や偏見を生む原因にもなっている。そういった
状況を改善するために、初等・中等教育課程からのヒトの遺伝学教育の必要性が叫
ばれるようになって久しいが、未だ実現に至っていない。
人々が多様性を受容する社会を作り、遺伝医療の正しい発展を支えるためには、社
会における遺伝リテラシーを定着させることが不可欠と考えられるが、そこにはど
の様な課題があり、また推進方策が考えられるのか、教育関係者、人類遺伝学や遺
伝性疾患・遺伝医療の専門家などにより、課題の所在を明らかにし、将来に向けて
何が出来るかを議論したい。

日時：平成26年9月6日（土）14：30～16：30
場所：お茶の水女子大学理学部3号館701室
主催：日本学術会議第二部会
共催：お茶の水女子大学、日本人類遺伝学会、日本科学教育学会、日本遺伝カウ
ンセリング学会、日本遺伝学会、人間情報学会、NPO法人 遺伝カウンセリング・
ジャパン

次第：
14：30 開会の挨拶
山本 正幸（日本学術会議第二部長、基礎生物学研究所 所長）
14：35 生物学教育におけるヒト多様性
市石 博（東京都立国分寺高校教諭）
15：05 ヒトの遺伝リテラシー向上を目指した遺伝医学関連学会の取組
渡邊 淳（日本医科大学附属病院遺伝診療科准教授）
15：35 パネルディスカッション
（司 会） 室伏 きみ子（日本学術会議第二部会員、お茶の水女子大学名
誉教授）

（パネリスト） 福嶋 義光（日本学術会議連携会員、信州大学医学部教授）
齋藤 加代子（東京女子医科大学 遺伝子医療センター教授）
高田 史男（北里大学大学院教授）
藺部 幸枝（お茶の水女子大学附属中学校教諭）

16：30 閉会

<参加申し込み> 締め切り：9月5日
受付FAX：03-5978-5362（お茶の水女子大学 室伏研）

address : murofushi.kinenkai@gmail.com
参加費： 無料 定員： 200名

日本学術会議政治学委員会シンポジウム・第25回中央大学学術シンポジウムのご案内

「進む少子高齢化/大都市圏郊外自治体の構造的危機」

1. 開催日時 平成26年9月13日(土) 13:30~16:45
2. 開催場所 中央大学駿河台記念館講堂
3. 主催 日本学術会議政治学委員会、日本学術会議政治学委員会行政学・地方自治分科会、中央大学経済研究所(第25回中央大学学術シンポジウム)
4. 開催趣旨 大都市圏も人口絶対減社会に入り始めた。かつて人口増対策として開発されたニュータウン、郊外の住宅団地や戸建て住宅群もいまやシルバータウンの様相を強め、子供、若者の少ないまちになり始めた。特に団塊の世代の大量退職に伴い、住民税を納める所得階層が急激に減り始め、一方で増える社会保障需要などに対応しきれず、財政危機が襲っている自治体も出始めている。自治体行政の構造的危機は今後より深刻度を増すのではないか。また地元地方議会の議員にもなり手がないうなど無競争当選が相次ぐさまである。大都市は豊かだとされた時代が去りつつある。都心部の自治体を含め、こうした構造的な危機にあえぎ始めた大都市圏自治体の実態とその問題点を明らかにする。その上で、待機児童ゼロ作戦など少子化対策、高齢者の職づくり戦略など新たな挑戦も生まれてきている。都市政策の方向転換を問う社会変動に自治体はどう立ち向かうか、実践の場で活躍する首長、学者らを招き、講演とディスカッションで徹底説明を図ってみたい。
5. 次第：
司 会 川井 綾子(フリーキャスター)

開会挨拶 猪口 邦子(日本学術会議第一部会員、参議院議員)

<第1部・講演> 13:30~15:05

- 講演1 曾根 泰教(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)
「少子高齢化が直撃する日本の大都市-東京が危ない」
- 講演2 山崎 朗(中央大学経済学部教授)
「大都市圏郊外自治体の危機と地域政策」
- 講演3 土居 文朗(日本学術会議連携会員、慶應義塾大学経済学部教授)
「大都市圏郊外自治体の空洞化と税財政」

<休憩>

<第2部・パネルディスカッション> 15:15~16:35 (80分)

「進む少子高齢化/大都市圏郊外自治体の構造的危機」

パネリスト

- 並木 心(東京都羽村市長、東京都市長会副会長)
曾根 泰教(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)
山崎 朗(中央大学経済学部教授)
土居 文朗(日本学術会議連携会員、慶應義塾大学経済学部教授)

コーディネーター

佐々木信夫(日本学術会議第一部会員、中央大学教授)

16 : 35~16 : 45 閉会の挨拶
石川 利治 (中央大学経済研究所長、経済学部教授)

詳細についてはポスターをご参照ください。

6. 問い合わせ先 日本学術会議事務局・第一部担当 原田
s251@scj.go.jp

★-----☆

日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
http://twitter.com/scj_info

☆-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行 : 日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34